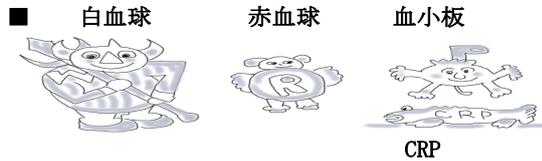


こどもクリニックの緊急検査

■ なかなか熱が下がらないときや、ぐったりしている時には、血液検査をしてみましょう。調べるのは、白血球と赤血球と血小板とCRPです。

■ 肘の静脈から採血するか、指先やかかへと針で小さな傷をつけて細いガラス管で血をとります。



■ **白血球**

細菌などの害毒から体を守るための成分です。白血球にはリンパ球と顆粒球があります。乳幼児ではリンパ球の方が多いのが正常です。細菌感染症が起こると顆粒球が増えます。抗生物質が必要かどうかには大切な検査です。

■ **赤血球**

体の酸素を運びます。主成分はヘモグロビン（血色素）です。貧血になるとヘモグロビンが減ります。子どもの貧血の主な原因は鉄分の不足です。重症の感染症でも貧血になります。

■ **血小板**

出血を防ぐために必要です。血小板が減っていると血が止まりにくくなります。ただし、採血に時間がかかったとき、かかとや指先からガラス管で採血したときには測定値が低くなります。

■ **CRP**

体の中で起こっている炎症の強さを測る検査です。病気の重さを知るのに役に立ちます。健康なときや、軽い風邪では（-〜±）ですが、病気がこじれてくると重さに比例して量が増えます。

検査の結果

お名前 _____

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日

■ **白血球の数**

_____ /ml

乳児では、8000~10000、幼稚園や小学生では 6000~9000、15 歳以上では 5000~8000 が正常です。細菌感染症で増え、ウイルス感染症では少なくなることがあります。

■ **白血球の分類**

リンパ球 LYM

_____ % 乳幼児では大人より多い

単球 MON

_____ % ウイルス感染で増加

顆粒球 GRA

_____ % 細菌感染で増加

■ **赤血球の数**

_____ 万/ml

普通は 400~500 万くらいです。

■ **ヘモグロビン（血色素）の量**

_____ g/dl

子どもは大人よりは少し貧血気味で平均は 11~13 グラムです。10 グラム以下の時は治療が必要です。

■ **血小板の数**

_____ 万/ml

血液を採る時に時間がかかって固まりかかったり、指先やかかから採集した血液では少な目に出ます。10 万から 40 万くらいが普通です。

■ **CRP の値**

_____ mg/dl

病気の重さ(炎症の強さ)に応じて高くなります。			
-	0.3 以下	±	0.4~0.6
1+	0.7~1.5		
2+	1.6~3.0	3+	3.1~6.5
4+	6.6~11.0		
5+	11.1~18.0	6+	18.1~25.0
6+以上	25.1 以上		

↓少ない、→普通、↑ちょっと多い、↑↑多い、↑↑↑とても多い。